

【記入例③】 転勤、再就職等により新勤務先で特別徴収を継続する場合

給与支払報告 特別徴収に係る給与所得者異動届出書

◎異動があった場合は、速やかに提出してください。

		年度	1. 現年度 2. 新年度 3. 両年度
事業所について記入してください。	矢板市長 殿	所在地	〒329-2192 矢板市本町5番**子
異動者の氏名、フリガナ、生年月日等を記入してください。事業所で使用している受給者番号があれば、ご記入ください。	令和 5年11月20日提出	フリガナ	ヤイタシヨウジ
賦課期日(1月1日)の住所を記入してください。1月1日以降住所の変更があった場合には、変更後の住所も記入してください。	特別徴収義務者指定番号	氏名又は名称	矢板商事 株式会社
税額通知書の個別明細に記載されている「年税額」を記入してください。	個人番号	個人番号又は法人番号	7 0 1 3 3 0 2 8 0 * * * *
新しい事業所で既に当市の指定番号をお持ちの場合は、番号を記入してください。新規の場合は、【新規】に○をつけてください。	フリガナ	フリガナ	トナギ イチロウ
新しい事業所について記入してください。	氏名	氏名	板本 一郎
異動者の税額について、何月分から何月分まで徴収したかを記入し、徴収済額の合計を記入してください。	生年月日	特別徴収税額(年税額)	昭和 平成 59年 5月 27日
年税額(ア)から徴収済額(イ)を差引いた額を記入してください。	個人番号	徴収済額(イ)	* 1 2 3 4 5 6 7 * * * *
この届出書について対応される担当者の方の連絡先を記入してください。	受給者番号	未徴収税額(ア)-(イ)	10-0000
納入書の要否について、該当番号を記入してください。	1月1日現在の住所	異動年月日	矢板市鹿島町30番地**子
新しい事業所で使用する受給者番号があればご記入ください。なければ記入は	異動後の住所	異動の事由	同上
税額通知書に記載されている指定番号、宛名番号を記入してください。	特別徴収義務者指定番号	異動後の未徴収税額の徴収方法	352*** (新規)
この届出書について対応される担当者の方の連絡先を記入してください。	所在地	1. 特別徴収継続の場合	〒329-1571 矢板市片岡3549番地**
新しい事業所について記入してください。	フリガナ	2. 一括徴収の場合	カタオカショウジ
税額通知書に記載されている「年税額」を記入してください。	氏名又は名称	3. 普通徴収の場合	かたおか商事 株式会社
新しい事業所で既に当市の指定番号をお持ちの場合は、番号を記入してください。新規の場合は、【新規】に○をつけてください。	個人番号	1. 退職	0287-48-*** * *
新しい事業所について記入してください。	受給者番号	2. 転勤	000123
異動者の税額について、何月分から何月分まで徴収したかを記入し、徴収済額の合計を記入してください。	納入書の要否	3. 死亡	2
年税額(ア)から徴収済額(イ)を差引いた額を記入してください。	1. 必要 2. 不要	4. 退職・長欠	2
この届出書について対応される担当者の方の連絡先を記入してください。	1. 必要 2. 不要	5. 死亡	2
納入書の要否について、該当番号を記入してください。	1. 必要 2. 不要	6. 専任少額・不定期	2
新しい事業所で使用する受給者番号があればご記入ください。なければ記入は	1. 必要 2. 不要	7. その他	2

第十八号様式(用紙日本産規格A4)(第十条関係)

税額通知書に記載されている指定番号、宛名番号を記入してください。

この届出書について対応される担当者の方の連絡先を記入してください。

【1】(特別徴収継続)と記入してください。

異動の事由について、該当する番号を記入してください。

異動日(退職日等)を記入してください。

新しい事業所で特別徴収を開始する月と、月割額を記入

新しい事業所で使用する受給者番号があればご記入ください。なければ記入は

ご注意
1. 黒のボールペン又はペンで記入してください。
2. 「氏名番号」の欄には、特別徴収税額通知書に記載された氏名番号を記載してください。
3. 給与の支払を受けた事業者が、新しい勤務先において特別徴収の継続を希望する場合には、「異動後の未徴収税額の徴収方法」の欄に「1」と記入するとともに、「1」特別徴収継続の場合には、一括徴収することが義務づけられています。
4. 二か日から四月三十日までの間に退職した人に未徴収税額がある場合には、一括徴収することができます。

新しい事業所について記入してください。

異動者の税額について、何月分から何月分まで徴収したかを記入し、徴収済額の合計を記入してください。

年税額(ア)から徴収済額(イ)を差引いた額を記入してください。

この届出書について対応される担当者の方の連絡先を記入してください。

納入書の要否について、該当番号を記入してください。